

「 社会科 」 授業のデザイン

授業者：西本 仰

ぐ

1 日 時 平成31年1月24日（木）5校時

2 学 級 3年3組

3 題 材（単元） 模擬裁判をしよう

4 本時の授業

（1）目標 模擬裁判を通して、判決の難しさを体験させるとともに、他人の意見から自分の考えを広げ、深めさせる。

（2）授業の取り組み

- ・ 検察、弁護人、被告人、証人の主張をしっかりと聞いた上で、自分の良心に基づいて判断をさせる。
- ・ 意見交換をする中で、自らの考え方を広め、深め合って最終の判決を決めさせる。
- ・ 学級全体で判決を決めた理由を交流し合う。

（3）流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p> <div data-bbox="301 1010 1350 1084" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">模擬裁判を体験しよう</div> <p>②基礎の課題</p> <p>事件の概要を知り、検察、弁護人、被告人、証人の主張を聞いた上（審理）で、今回の事件が殺人、正当防衛、過剰防衛のいずれに該当するかを自らの良心に基づいて判断する。</p> <p>③ジャンプの課題</p> <p>2度目の審理を経た上で、班員どうしてお互いの判決に至った理由を話し合い、意見交換する（評議）。他人の意見から自分の考えを広め、深め合いながら、班としての評決（判決）を決める。</p> <p>④まとめ</p> <p>学級の各班から出てきた判決を、理由も説明しながら発表する。最終的に学級全員の裁判員による判決を出す。</p>	<p>・被告人に対する先入観を持たず、それぞれの立場の主張をしっかりと聞いて判断させる。</p> <p>・人の意見に左右されず、自分の考え方で判断するよう促す。</p> <p>・自分の考えだけでなく、他の人の意見も聞きながら、広い視野に立って最終的な判断をするよう促す。</p>